



工場内での確認・指示・管理に活用 確認時間の大幅短縮に寄与

トッカコーポレーションでは、工場内での指示や管理を効率化するためのコミュニケーションツールとしてBuddycomを活用しています。

製袋加工、充填包装加工、グラビア印刷、抗菌フィルム製造を行う4工場全てで導入し、工場・部署ごとに19グループで運用しています。

周辺機器には**バッテリー持ちが良くイヤホン交換も可能なBluetoothマイク (MKI-P3)**を採用し、騒音環境でも問題なく利用できています。

従来のインカムは特定の相手への発言が全員に聞こえてしまう点や故障による交換コストが課題でした。また、不良品発生時に現場まで状況確認に行く負担もありました。

効率化とDXを進める中でBuddycomを知り、「機能」「価格」「サポート」「操作性」「拡張性」で比較した結果、ライブキャストや翻訳機能など使いやすさに優れる点から採用を決定しました。



現場の状況を映像で、リアルタイムに伝達 大幅な業務の効率化を実現

主な使用機能



移動距離削減や誤認ミス減少を実現

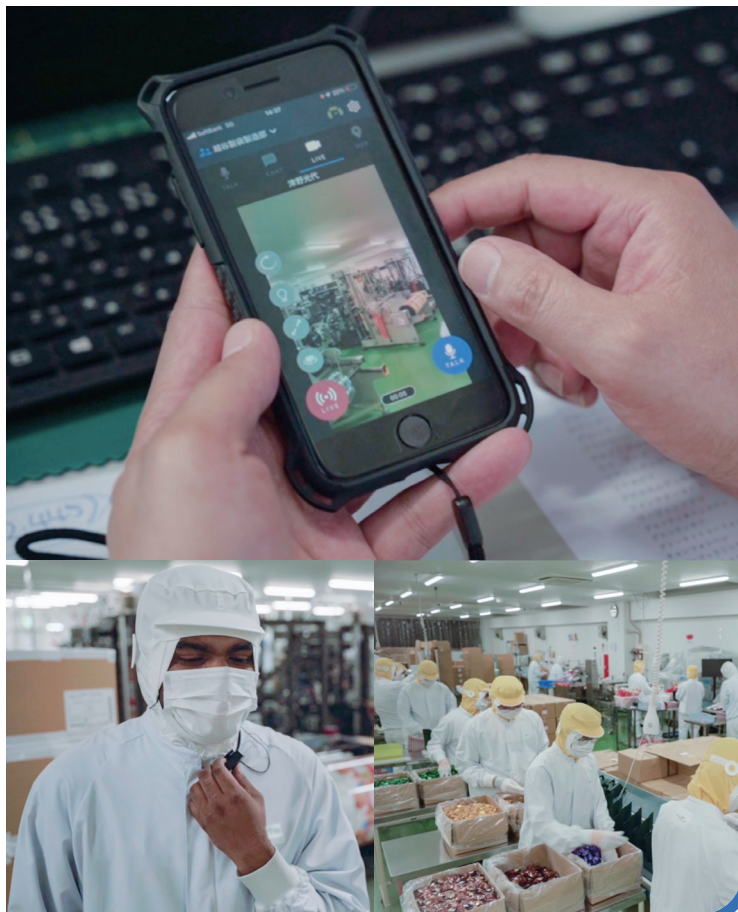
以前は、現場の状況を伝える為に、4フロアをまたいで移動しなければならず、非常に大変でした。

しかし、ライブキャスト機能を活用することで、映像でリアルタイムに状況を伝えられるようになり、短時間での確かな指示が出せるようになりました。

ハラスメント対策や防災にも活用

従業員の半数が外国籍であり、言葉の壁を感じることもありましたが、翻訳機能を使うことにより、コミュニケーションがスムーズになりました。

そのほか、ハラスメント対策や、防災チャンネル作成による安全面確保、画像送信による製品の良否判断や客先への報告の効率化などにも活用できています。



導入前の課題

- インカムを使用していたが、壊れる頻度が高く、交換コストが掛かっていた
- 特定の人への発言がチャンネル内全員に聞こえてしまっていた

導入検討中の方へメッセージ



Buddycomの導入に当たって、大変だったことは特にありませんでした。強いて言うのであれば、元々インカムを使っていた職員にはインカムの概念があったため、Buddycomの様々な機能を理解してもらう点に苦労しました。スマホなので日常と変わらない機能も多く、機械の苦手な人でも面白がって使ってもらうことができ、どちらかという楽しみながら運用開始まで来れたと思います。